

資源プラスチック・ペットボトルの 分別にご協力ください

区内で回収された資源プラスチックおよびペットボトルは、港資源化センターへ運ばれます。そして、大量のプラスチックの中からリサイクルできないものを作業員が手で取り除き、圧縮・梱包し、ベールと呼ばれる塊にして、民間の再生工場へ運んだ上でリサイクルされています。民間の工場ではベール検査(混入物の検査)があり、リサイクルできないものが混入しているとリサイクルを断られる場合があります。確実にリサイクルを行うために、適切な分別にご協力をお願いします。

資源プラスチックの出し方

資源プラスチックとは

容器や包装に付いているプラマークを目安に分別してください。プラマークの無い製品プラスチック(プラスチック製のおもちゃ等)も対象です。
 ※詳しくは、資源とごみの分別ガイドブック、ごみ分別アプリでご確認ください。



※製品プラスチックにはマークは付いていません。

●資源プラスチックのみでまとめて、ふた付きの容器または中身の見える袋に入れて出してください。



袋を二重にしないでください

●出された資源プラスチックは、港資源化センターで袋を破いてリサイクルできないものが混入していないか確認しています。袋の中に小袋を入れて、その中にプラスチックを入れると更に破る作業が必要となるため、資源プラスチックは袋を二重にして出さないでください。



袋を破いて不純物を取り除く様子

汚れはどこまで落とせばいいの？

1 食べ物等の異物が残っていると、資源プラスチックとして出すことはできません。

2 古布で拭き取る、残り水ですすぐ等して、汚れを落としてください。洗剤は不要です。

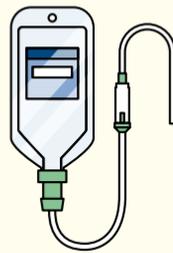
3 食べ物の色素等が残っている程度なら、資源プラスチックとして出すことができます。

4 種類を問わず、全て同じ袋に入れて出してください。

資源プラスチックとして出せないもの「禁忌品」にご注意ください

資源プラスチックに混入している剃刀・電池・ライター・刃物類・注射針等の医療系廃棄物等は、再生工場で作業する際に危険な「禁忌品」と呼ばれています。平成29年度の品質検査において、港区の家庭から回収した資源プラスチックの中にも禁忌品の混入が確認されました。今後も禁忌品の混入が続くと、資源プラスチックとしてリサイクルするために多額の経費が必要になります。絶対に、資源プラスチックに禁忌品を混入させないでください。

在宅医療に伴い排出される廃棄物
 点滴バッグ、点滴チューブ、注射筒等
 →可燃ごみへ

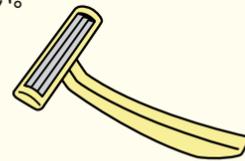


汚れの落とせないプラスチック
 油の容器、醤油の小袋等
 →可燃ごみへ

誤って混入しているもの
 剃刀(刃を含む)、電池、ライター、ガラス片、スプレー缶等
 →不燃ごみへ

※リチウムイオンバッテリー等の充電式の電池やボタン電池は回収できません。販売店に設置されている回収ボックスに出してください。

※乾電池は拠点回収も行っています(アルカリ、マンガン乾電池等筒型電池のみ)。



ペットボトルの出し方

ペットボトルとは

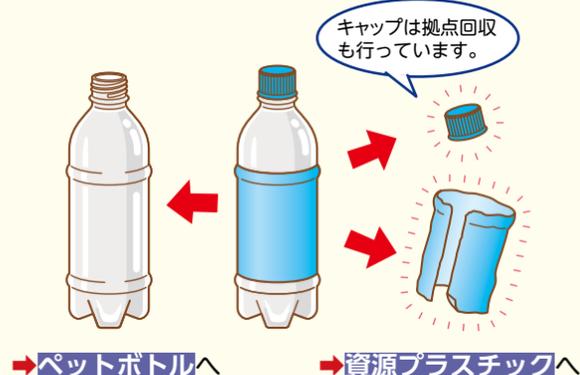
清涼飲料、酒類、醤油等のボトルにペットボトルマークが付いているもの



ご協力をお願いします

港区リサイクルキャラクター
 エコル

- ①キャップとラベルは、ペットボトル本体と材質が異なります。リサイクルルートが異なるため、キャップとラベルは外してください。
 ※キャップとラベルは資源プラスチックへ。
- ②軽くすすぎ、つぶしてください。
- ③ペットボトル回収ネットまたは中身の見える袋に入れて出してください。



問い合わせ みなとリサイクル清掃事務所ごみ減量推進係 ☎3450-8025

10月は3R推進月間です

3R(さんアール)は、限りある資源やエネルギーを有効活用し、環境への負荷を軽減する「循環型社会」実現のためのキーワードです。「できること」から「少しずつ」、日常生活の中で実践していくことが重要です。

ごみを減らすために、ご家庭でも3Rを実践してみましょう。

3Rとは

Reduce(リデュース)

ごみの発生抑制のことで、ごみそのものを出さないことです。3Rの中でも最も重要な取り組みです。

例

- 食事の際に、食べ残しをしない。
- 買い物の際に、マイバッグを持参し、余分な買物はせずレジ袋や過剰包装は断る。



港区リデュースキャラクター だんじろう(断辞郎)

Reuse(リユース)

物を再使用することで、ごみとして捨てずに繰り返し使うことです。

例

- 壊れたものはすぐに捨てずに、修理して使う。
- いらなくなったものは、必要な人に譲る。



港区リユースキャラクター リユード

Recycle(リサイクル)

使用した製品を再び資源として再生利用することです。

例

- リサイクルされた製品を選んで購入するようにする。
- 資源とごみをしっかり分別して出す。



港区リサイクルキャラクター エコル

食品ロス・食品廃棄物を減らしましょう

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。日本で発生する食品ロスは年間約646万トン(※1)。世界中の飢餓に苦しむ人々に向けた食糧援助量が年間約350万トン(※2)ですので、その約1.8倍の量が無駄に捨てられていることとなります。

食品ロス・食品廃棄物を減らすために、区では次のような取り組みをお願いしています。

※1 農林水産省および環境省「平成27年度推計」から

※2 WFP(国際連合世界食糧計画)ホームページから

家庭でできる取り組み

3Kリ運動(使いきり、食べきり、水きり)

食品ロスを減らすためには「使いきり」「食べきり」が有効です。生ごみを減らすための「水きり」と併せて「3Kリ」に取り組みましょう。

①使いきり

食材を必要な分だけ購入し、無駄なく活用しましょう。

例：事前に冷蔵庫の中身を確認して、計画的に買い物をする 等

②食べきり

料理は残さず、おいしく食べきりましょう。

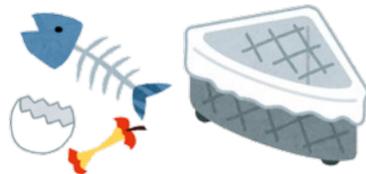
例：食べきれぬ分だけ作り、残った料理は作り替えて食べる 等

③水きり

生ごみの約8割は水分です。水気をしっかり切りましょう。

例：水切りネットや家庭用生ごみ処理機を活用する 等

※区では、家庭用生ごみ処理機の購入助成(購入金額の2分の1、2万円上限)を行っています。



おうちで「残さず食べよう 30・10運動」

毎月30日は 冷蔵庫クリーンアップデー

賞味期限や消費期限が近い食材や、傷みやすい野菜・肉類を料理に積極的に活用しましょう。

毎月10日は もったいないクッキングデー

普段は捨ててしまいがちな野菜の皮等や余った料理を使い、別の料理に作り替えませんか。

10月16日は「世界食料デー」です

「世界食料デー」とは、国連が制定した世界の食料問題を考える日です。世界では、9人に1人が飢餓に苦しんでいます。「みんなが食べられる世界」を実現するために、私たちに何ができるのかを考え、食品ロス削減に向けて、できることから始めてみましょう。

ごみ分別アプリ

主な機能

お住まいの地域の資源・ごみの回収・収集日程や、各品目の分別区分、排出時の注意点等を素早く確認できます。また、清掃リサイクル関連イベントのお知らせをお届けします。

アプリのダウンロード方法

アプリストアで「東京都港区ごみ分別アプリ」で検索するか、次の二次元コードからダウンロードしてください。



区では、スマートフォン(iOS、Android)用の「ごみ分別アプリ」を配信しています。ごみ出しを忘れてしまう、分別が分からない等でお困りの皆さん、ぜひご活用ください。



iOS



Android

集団回収 小規模企業者が排出する古紙が対象に加わりました

集団回収は、10世帯以上の区民の皆さんで構成する町会・自治会、PTA、管理組合等の団体が、家庭等から出る資源を自主的に回収し、資源回収業者に引き渡してリサイクルする方法で、ごみの減量と資源循環を図る活動です。

7月1日から、中小企業基本法上の小規模企業者(表参照)が排出する古紙(産業廃棄物を除く)も回収することができるようになりました。

事業所のオフィスペーパーや段ボール等の古紙を地域の集団回収団体に提供して、リサイクルの推進や、地域への貢献をしてみませんか。

表 中小企業基本法上の小規模企業者

業種分類	小規模企業者の定義
製造業その他	従業員20人以下
商業・サービス業	従業員5人以下

問い合わせ みなとリサイクル清掃事務所ごみ減量推進係 ☎3450-8025